

兵庫県は2017年に人口が約1.7万人減少しました。いくら明石市が近隣市から人口を奪ってきたとしても、兵庫県や関西としての人口を増やさなければ、継続した発展は望めません。近視眼的な消耗戦をやめ、長期的な姿を描くのが本来の政治の役割ではないでしょうか。

人口が増えているからといって、明石市は成功事例ではありません。好循環と吹聴しても、実際は増収以上の費用を使い、周囲と人口の奪い合いを繰返しているだけです。本来の地方創生は「東京一極集中の是正」であり、それは「地域間連携」によって成し遂げられます。

東京で心や体を消耗して暮らすよりも、兵庫県で自然も文化も教育も豊かな生活をするのが幸せに繋がるというPRをそれぞれの市や町が特色を交えて行いましょう。その連携には兵庫県がコーディネートとして参画します。例えば、東播磨では明石、加古川、高砂、稲美、播磨と兵庫県が地域の特徴と打ち出し方を一緒に練って展開するのです。

## 市民の力で 次のステージへ

その昔、行政が企業誘致を頑張った時代がありました。お金を積んで企業や工場に来てもらいましたが、結果として数年で出て行ってしまいうケースが多かった。現在、人口増加策や子育て支援策は、お金をあげたり、サービスを無料にしたりの消耗戦。子育て支援の本質は、「子が一人前になるまで安心して育てられる環境を用意すること」です。教育、治安、衛生、医療、文化などのサービス水準が高いことは、安いことより重要。「兵庫県出身ですか！学力が高いですね、住環境すごく良いですね。」と言われる地域にしましょう。



### 立憲民主党に 入党しました

中西礼皇はこの度、立憲民主党より声掛けをいただき、入党いたしました。これまで以上に県政や国政と連携し、大きな成果を目指して参ります。3期12年の間、市民の力によって充実した政治活動・議員活動を行うことができました。市民の提案から実現に至った事業、市民の指摘で発見された事業の改善点といった議会活動、アドバイスで改良されたチラシや中西レオの立ち居振舞いなど政治活動、どちらも皆さまの力をいただいたこと以前に進めたと感じています。これからは更に広い視野で明石を見つめ、未来を大きく描く役割を担いたいと考えています。立憲民主党についての期待、反発、疑問など多数あると存じますが、「まっとうな政治」つまり「憲法や法律に則った公明正大な政治」を目指すところ、国民への情報公開や国民の参画を進めるといふ理念にご理解をお願いいたします。

まあとどの国の現状... 一極集中極まれました 東京だけ年間10万人超人口増

明石市は人口が増えています！ 17年は実に 23800人増 だがしかし... 兵庫県全体で見ると... マイナス17079人

全国では 昨年だけで 約40万人減少... 全体のバイは 縮小... ！

近隣からの わずかな取り合いに 勝っているだけ なのです... 子どもの医療・保育 無料やで

地方の人口減は深刻... ですが 国に有効な策はなし... 危機的状況 なのです 我々政治家が やるべきことは 何か？

広い視野での 政治！！ 近隣からの人口 取り合い脱却 東播磨・兵庫 そして関西全体 自治体間競争から 自治体間連携へ！

かといって今の 県政は... 知事に意見の ある者は... 何をやっているのか 何をしたいのか... 県政って何？ やつてるの？

私 中西レオは 今まで市民と 市政課題を 共有してきた 自信があります！ 教育に 観光！ 地方復興の 課題は ありません

市政に続き 今後は広域的 課題を皆さんに 伝えたい！！

みなさんどお思いますか！！